

しまばら国際化推進事業

事業目的

市民に異文化理解や国際感覚醸成のための学びと交流の機会を提供し、国際化に対応した人材の育成を図るとともに、今後、ますます増加が見込まれる諸外国からの来訪者にも親しまれるまちづくりを目指します。

事業概要

本市の現状	① 海外都市との交流が特になく、市民と外国人との交流の場等が少ない。
	② ジオパーク国際ユネスコ会議等を契機として、国際交流の機運が高まっている。海外のジオパークとの交流拡大などにより海外からの来訪者の増加が見込まれる。
	③ これまで、中国上海市への中学生派遣事業の実施や緊急雇用創出事業を活用した語学講座等を実施。平成24年度からは本事業による「中国語中級講座」を開講し、語学講座に加え中国文化等の学習や交流イベント「料理教室」を開催



対応策	① 中級講座を、2か国語に拡充（英語を追加）
	② 引き続き文化学習や交流イベントを企画、実施



海外との本格的な交流に向けた一定レベル以上の語学力を持つ人材の確保、自主的な国際交流事業、国際化を推進する市民団体の育成などを目指します。

事業費		25年度予算額	(うち、一般財源)	全体事業費
		1,014千円	(1,014)	—
年度別事業内容	前年度	25年度	次年度以降	
	語学講座及び交流イベントの開催	前年度実施分に加え、英語中級講座を新設	引き続き実施予定	

政策企画グループ

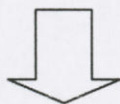
森岳城跡（島原城）石垣台帳作成事業

事業目的

島原城の石垣について現況調査し台帳を作成。崩落の恐れがある石垣を事前に把握し補修の参考とする伴に、国・県史跡指定にあたっての基礎資料とします。

事業概要

- 事業期間 平成24年度～平成26年度
- 事業内容 石垣台帳作成
- ・森岳城跡の石垣を面ごとに現況写真をデジタル・プロニー（モノクロ）で撮影。
- ・現地で石垣の高さ・横幅等の測量。
- ・城郭石垣に精通した者の目視により、過去の積直し回数、石垣のハラミ、石材の割れ等、破損状況を確認。
- ・既知の絵図等から、修復履歴も合わせて調査し、現地の状況との整合性を図る。



現地の測量及び調査結果を現況写真に注記した台帳を作成します。

文化庁の国宝重要文化財等保存整備費補助金で実施。

「埋蔵文化財の保存目的の調査」に該当。

費用負担 国 1/2・県 1/20・市残額。



年度別事業箇所

事業費	25年度予算額 (うち、一般財源)		全体事業費
	4,252千円 (1,914)		10,197千円
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	平成24年度 本丸石垣の1/3の台帳作成 945千円	本丸・二ノ丸・堀外周の 石垣台帳作成	平成26年度 城外郭の石垣台帳作成 5,000千円

社会教育グループ

伝統的建造物群保存対策事業

事業目的

鉄砲町の伝統的なまちなみを後世に残しながら、住民生活の向上および地域活性化を図る方法の一つとして、伝統的建造物群保存地区制度の導入に取り組み、国の重要伝統的建造物群保存地区選定を目指します。

事業概要



1. 住民への制度および鉄砲町の価値の周知
 - ①まちづくり学習会の開催
 - ②広報紙の発行
2. 伝統的建造物群保存地区制度導入の具体的取り組み
 - ①伝統的建造物群保存対策事業に関する住民説明会の開催
 - ②伝統的建造物群保存条例の制定
 - ③伝統的建造物群保存審議会の設置
 - ④伝統的建造物群保存地区の決定
 - ⑤伝統的建造物群保存計画の策定
3. その他
 - ①庁内関係部局、関連事業等との調整・協力
 - ②国・県との連絡調整

↑「島原市鉄砲町伝統的建造物群保存対策調査報告書」で示された保存地区の範囲。下の丁・城西中の丁・古丁、江戸丁・新建・北原町の一部

事業費	25年度予算額 (うち、一般財源)		全体事業費
	433千円 (433)		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	・伝統的建造物群保存地区制度および鉄砲町の文化財的価値の周知。	・伝統的建造物群保存地区制度の導入。	・国への重要伝統的建造物群保存地区選定の申し出。

社会教育グループ

3 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

〔新規〕武家屋敷駐車場整備事業

事業目的

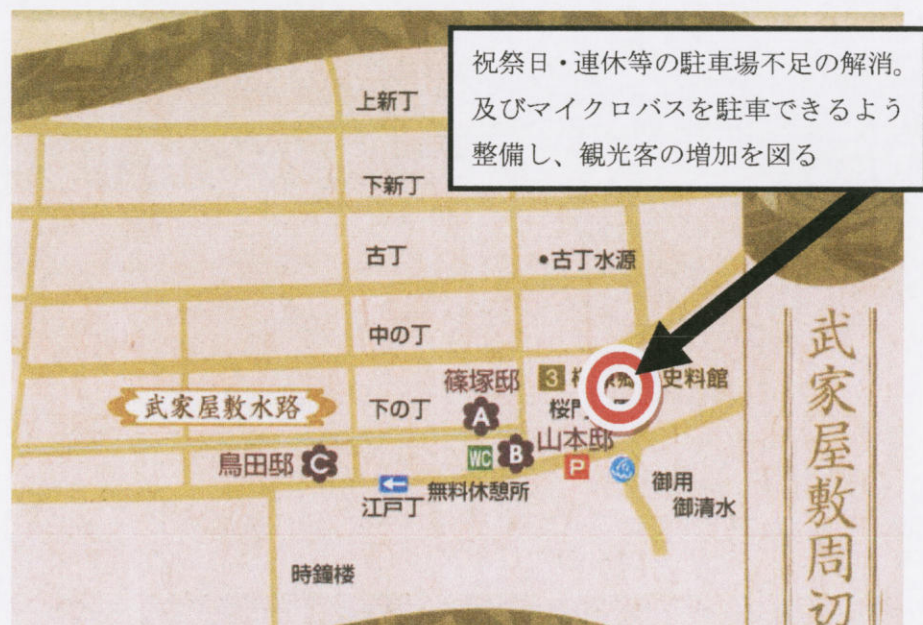
現在、武家屋敷専用の駐車場を確保しているものの土日や連休時には不足している状況です。こうしたことから、駐車場不足の解消とマイクロバスの駐車スペースを確保するため整備を行い、観光客の利用増加及び駐車場の混雑緩和を図るものです

事業概要

《事業主体》 島原市

《事業期間》 平成25年度

《事業内容》 桜門公園西側に武家屋敷を訪れる観光客が利用できる駐車場を整備します



事業費	25年度予算額（うち、一般財源）		全体事業費
	15,800千円（15,800）		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	—	用地借上げ 駐車場整備	武家屋敷を来訪する観光客向けに駐車場を解放予定

3 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

武家屋敷保存整備事業

事業目的

観光資源であると同時に歴史的資産でもある武家屋敷の中核を為す山本邸の傷みが激しいため、後世に残すべく保存修理工事等を行おうとするものです。

事業概要

《事業主体》島原市

《事業期間》平成25年度（24年度は旧篠塚邸の保存整備を実施）

《事業内容》保存整備のための調査及び設計を行います。

- ・山本邸保存調査設計業務委託



事業費	25年度予算額（うち、一般財源）		全体事業費
	1,735千円（1,735）		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	旧篠塚邸の保存整備	上記事業内容と同じ	—

3 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

島原城整備事業

事業目的

耐震診断の結果に基づき、平成24年度は設計業務を行い、今年度「天守閣」の補強工事を施工します

事業概要

《事業主体》 島原市

《事業期間》 平成24年度から

《事業内容》 「天守閣」の耐震補強工事を施工します



事業費	25年度予算額（うち、一般財源）		全体事業費
	22,000千円（1,035）		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	島原城4棟の耐震診断を実施。天守閣の耐震補強に係る設計を行った	天守閣の耐震補強工事	—

観光・ジオパークグループ

観光宿泊施設等支援事業

事業目的

東日本大震災や原発事故、長引く景気低迷は、本市観光にも多大な影響を及ぼしております。特に、観光の基幹となる宿泊施設においては、その影響を色濃く受けており、地域経済に与える影響は甚大です。

このことから、観光の振興と地域の活性化を図るため、市内のホテル・旅館等が実施する各種事業について助成を行い、観光産業の存続及び雇用の場の確保を図るものです。

事業概要

《事業主体》 島原市

《事業期間》 平成23年度～（②は24年度～）

《事業内容》 ①観光宿泊施設支援事業（12,556千円）

温泉給湯事業を利用する宿泊施設が実施する観光振興事業に要する経費を助成（温泉使用料の2分の1を上限）

②観光宿泊施設魅力アップ推進事業（5,000千円）

宿泊施設の新設、改築、改修に要する経費を助成

※補助率2分の1（100万円を限度）

③観光宿泊施設ジオパークおもてなし支援事業（2,000千円）

宿泊施設が実施する各種おもてなし事業に対する助成。

※補助率2分の1（10万円を上限）

観光関係事業者向けのおもてなし研修会開催に要する経費の助成

④外国人観光客受入施設グレードアップ推進事業（2,900千円）

外国語表示、外国語放送受信設備、インターネット環境整備、外国人対応トイレ整備に要する経費を助成。

※負担割合 県1/3、市1/3（メニュー毎に補助上限額有）

事業費		25年度予算額（うち、一般財源）	全体事業費
		22,456千円（21,006）	—
事業内容 年度別	前年度	25年度	次年度以降
	上記事業内容と同じ （①、②、③のみ）	上記事業内容と同じ （④は23年度実績有）	継続して実施予定

観光・ジオパークグループ

お年玉プレゼントキャンペーン事業

事業目的

本市の観光・特産品のPRを印刷した年賀状を作成し、市民が全国に発送することで、観光客の誘致を図ると共に、本市独自の当選番号を設定し、当選者へ特産品をプレゼントすることで、特産品のPRと販売促進に取り組みます。

事業概要

《事業主体》島原市（委託先：島原城振興協会）

《事業期間》平成23年度～

《事業内容》日本郵便発行の年賀状に観光・物産のPRを印刷し、全国へ発送してもらう。

年賀状の番号を活用し、本市独自の当選番号を決め、当選者へ特産品をプレゼントする。

- ・年賀状の申込み受付（島原城振興協会で販売。1枚50円で20,000枚）
- ・当選者への特産品発送（総数50本）

～見本～（24年度分）



事業費	25年度予算額（うち、一般財源）		全体事業費
	590千円（590）		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	・年賀状の印刷、申込み受付 ・当選者へ特産品発送（市）	前年度と同様	引き続き実施予定

3 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

島原半島ジオパーク推進経費

事業目的

島原半島3市で推進する「島原半島ジオパーク」は、平成21年8月22日、国内で初めて世界ジオパークネットワークに加盟しました。世界ジオパークの加盟地域は、4年ごとに現地審査が行われ、世界ジオパークとしての品質の維持が求められています。今年、再審査の年を迎えることから、再認定を目指して引き続きジオパークの整備を進めるとともに、地質資源の保護、ならびに市民向けのジオツアーや観光PRを行い、ジオパークを用いた教育・観光振興を推進することで、交流人口の拡大を図ります。

事業概要

《事業主体》 島原半島ジオパーク推進連絡協議会

《事業期間》 平成20年度～

《事業内容》 世界ジオパーク再審査事業、ジオガイド養成講座、多国語解説板・総合案内板・道路誘導案内板設置、ジオパーク検定実施、ジオサイト掘り起し事業、ガイドブックやリーフレット等PR用資材の作成、ホームページデザイン更新、など

総事業費 38,899千円（3市負担金、県補助金含む）

協議会負担金（本市分） 9,784千円

事業費	25年度予算額（うち、一般財源）		全体事業費
	10,494千円（10,494）		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	世界ジオパーク再審査、ジオパークの整備、ジオガイド養成、ジオパークのPR等	上記事業内容と同じ	引き続き実施予定

観光・ジオパークグループ

がまだすリーグ・スポーツキャンプ等誘致補助金

事業目的

九州を本拠地とするプロサッカーチームなどによる交流戦を島原市に誘致し、長崎県内外からの交流人口の増加及びこれらによる観光振興及び地域の活性化を図るものです。

また、Ｊリーグをはじめ社会人、大学による各種スポーツのキャンプ等を誘致し、地域の活性化、市民スポーツの向上、青少年の健全育成を目指します。

事業概要

◆がまだすリーグ

《事業主体》 島原がまだすリーグ・スポーツキャンプ等誘致実行委員会

《事業期間》 平成18年度～

《事業内容》 観光振興及び地域の活性化を図るため、九州をはじめとするＪリーグ・ＪＦＬ・九州リーグに所属するサッカーチームなどによる交流戦を誘致し、この実施組織に対して開催経費の一部を補助する。

◆スポーツキャンプ等

《事業主体》 島原がまだすリーグ・スポーツキャンプ等誘致実行委員会

《事業期間》 平成15年度～

《事業内容》 地域の活性化、市民スポーツの向上、青少年の健全育成を図るため、Ｊリーグをはじめ社会人、大学による各種スポーツのキャンプ等の誘致を行う。

事業費	25年度予算額 (うち一般財源)		全体事業費
	6,000千円 (6,000)		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	上記事業内容と同じ	上記事業内容と同じ	上記事業内容で実施予定

観光・ジオパークグループ

大会・会議等誘致奨励金事業

事業目的

各種大会・会議・研修会等を開催する団体に対して、市内宿泊施設に宿泊した延べ人数等に応じた開催経費の助成を行うことにより、大会等の誘致に努め、施設の利用促進、観光振興及び地域の活性化を図るものです。

事業概要

《事業主体》島原市

《事業期間》平成2年度～

《事業内容》観光振興及び地域の活性化を図るため、各種大会・会議・研修会等を開催する団体に対して、島原市内宿泊施設に宿泊した延べ人数に応じて奨励金の交付を行うもの。

なお、上記のうち文化・学術コンベンションにおいては、九州大会規模以上で延べ宿泊者数200人以上、スポーツコンベンションにおいては西日本大会規模以上で延べ宿泊者数500人以上のものについては、それぞれ県のコンベンション等開催助成事業に該当し、助成金額の2分の1が県から助成される。

事業費	25年度予算額（うち、一般財源）		全体事業費
	6,880千円（4,480）		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	上記事業内容と同じ	上記事業内容と同じ	引き続き継続予定

観光・ジオパークグループ

〔新規〕姉妹都市提携 30 周年記念事業

「福知山市への友好親善訪問の旅」

事業目的

姉妹都市提携 30 周年を記念し、福知山市への友好親善訪問を実施することにより、交流を通して両市のさらなる発展に寄与するとともに、姉妹都市としての一層の関係促進を図ります。

事業概要

- ①実施時期 平成 25 年秋を予定
- ②訪問人員 各種団体及び市民一般募集 合計 100 人
- ③行 程 福知山市及び京都府周辺へ 2 泊 3 日の旅
 1 日目に福知山市へ訪問、歓迎式及び両市交流会の開催、同市宿泊
 2 日目は福知山市内観光と交流、京都市内及びその周辺を観光、宿泊
 往路・復路とも航空機利用
- ④補助金の内容
 市及び関係団体で組織する実行委員会に対し、事業目的達成のため、次の経費について補助を行う。
 - ・福知山市への記念品
 - ・交流会参加者への特産品土産品代
 - ・訪問団参加者に対し、1 人当たり 2 万円の旅費補助
 - ・記念写真代、通信運搬費ほか旅行雑費など

事業費	25 年度予算額 (うち、一般財源)		全体事業費
	2,840 千円 (2,840)		—
年度別事業内容	前年度まで	25 年度	次年度以降
	—	上記事業内容と同じ	—

政策企画グループ

〔新規〕島原情報マイスター養成講座

事業目的

島原の旬な情報を発信できる人を養成し、人と人とのつながりをつくるウェブコミュニケーション手段のひとつである、SNS（ソーシャルネットワークサービス）等を利用し、島原市民による地元ならではの情報を発信することで、地域の魅力アップ及び情報発信、また、市民の IT（情報技術）活用の向上を目指します。

事業概要

- 1 養成講座開講（月 2 回×5 ヶ月＝10 回）
 - （1）SNS の魅力、発信効果及び、SNS を通じた家族・友人との交流方法
 - （2）モバイル端末（iPad 等）等を利用したリアルタイムな情報発信の手段について
 - （3）魅力ある掲載方法について（写真の撮り方・動画のアップロード等）
- 2 facebook（フェイスブック）ページの開設（仮称：島原マイスターいちおし情報！）
- 3 受講完了者に対し、「島原情報マイスター」の認定証交付

事業費		25 年度予算額（うち、一般財源）	全体事業費
		1, 109 千円 (1,109)	1, 109 千円
年度別事業内容	前年度まで	25 年度	次年度以降
	—	・ 講座を開講 ・ facebook 開設 ・ 島原情報マイスター認定	Facebook 等を利用し、地元ならではのリアルタイムな情報発信

政策企画グループ

市民文化芸術振興事業

事業目的

市民が主体的に行う文化芸術活動の発表の機会と場を設けるとともに、外部の講師の講演により市民文化の振興を図るとともに、文化芸術活動の支援を行い、文化の香り高いまちづくりを目指します。

事業概要

○文化芸術活動の発表の場と、教養を高める場の設定

市民音楽祭

11月の3日間開催

- ・小中学生の部
- ・洋楽の部
- ・邦楽の部

1,200 千円

島原市美術展覧会

10月の5日間開催

絵画・書・写真・工芸・
陶芸の5部門

530 千円

市民文化講座

年5回程度開催

市内外の専門家に文
化・芸術・社会・経済
各方面の話を聞く

110 千円

梅林俳句会

毎年2月に開催

市の花「梅」を題
材とする句会

○市民の文化芸術活動の支援

- ・各文化団体等への活動支援（島原文化連盟・有明文化協会・民俗芸能等）
- ・全国大会等出場補助

1,766 千円

事業費	25年度予算額（うち、一般財源）		全体事業費
	3,606千円（3,606）		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	上記事業内容と同じ	上記事業内容と同じ	引き続き実施予定

文化・スポーツ振興グループ

自主文化事業

事業目的

市民に生の優れた音楽・舞台を鑑賞する機会を提供することにより、文化のレベルアップと文化活動の活性化を図ります。

事業概要

- 《事業主体》 島原市
- 《事業期間》 昭和49年度～
- 《事業内容》 島原文化会館及び有明文化会館を主会場として、音楽・演劇など本物の芸術文化に触れる機会を市民に提供する。
- 《平成25年度予定》
- 吉本新喜劇 島原文化会館
 - 演劇「ないた赤おに」 島原文化会館
 - 松下奈緒コンサート 有明文化会館
 - 男性オペラユニットレジェンドコンサート 有明文化会館
 - 島原子ども狂言ワークショップ 島原文化会館

事業費	25年度予算額 (うち、一般財源)		全体事業費
	16,755千円 (11,365)		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	・ちさこの部屋 ・中国雑技公演 ・シンドバッドの大冒険 ・さだまさしコンサート ・島原子ども狂言ワークショップ	上記事業内容と同じ	引き続き実施予定

文化・スポーツ振興グループ

平成新山島原学生駅伝

事業目的

駅伝大会を島原市で開催することにより、この大会を冬の一大イベントとして定着させ、駅伝を通しての交流都市を目指して、平成新山を冠する大会として島原半島ジオパークはもとより「島原」を県内外へアピールします。

事業概要

《事業主体》 九州学生駅伝対校選手権大会実行委員会

《事業期間》 平成10年度～（女子：平成17年度～）
平成25年11月30日（土） 開催予定

《事業内容》 ・九州大学生駅伝対校選手権大会 7区間 56.30キロ
・九州大学生女子駅伝対校選手権大会 5区間 22.87キロ



事業費	25年度予算額（うち、一般財源）		全体事業費
	19,000千円（19,000）		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	上記事業内容と同じ	上記事業内容と同じ	引き続き実施予定

文化・スポーツ振興グループ

国体推進室経費

事業目的

平成26年に長崎県で「第69回国民体育大会（長崎がんばらんば国体）」及び「第14回全国障害者スポーツ大会（長崎がんばらんば大会）」が開催されます。島原市では、国体4競技（サッカー、バレーボール、レスリング、弓道）、大会では2競技（バレーボール、サッカー）が実施されます。また、平成25年度には「全国高等学校総合体育大会（2013未来をつなぐ北部九州総体）」が、長崎県を含む北部九州4県で開催され、島原市ではレスリング競技が実施されます。国体の開催に伴います「競技別リハーサル大会」も、平成25年6月の弓道競技を皮切りに、サッカー競技、バレーボール競技が順に実施されます。

国体をはじめ各大会を成功させるため、大会の企画・運営、広報、歓迎おもてなし等の業務を行います。

事業概要

《事業主体》 島原市（長崎がんばらんば国体島原市実行委員会）

《事業期間》 平成21～26年度

《事業内容》 長崎がんばらんば国体、長崎がんばらんば大会、平成25年度全国高等学校総合体育大会、競技別リハーサル大会の成功に向け、大会の企画・運営、広報、歓迎おもてなし等の業務

○競技別リハーサル大会

競技名	大会名	競技会場	大会日程
弓道	第60回全日本勤労者弓道選手権大会	島原市壺丘公園体育館・弓道場	H25.6.7(金)～9(日)
サッカー	第49回全国社会人サッカー選手権大会	島原市営陸上競技場 ほか	H25.10.18(金)～23(水)
バレーボール	第31回九州中学校バレーボール選抜優勝大会	島原復興アリーナ ほか	H26.3.27(木)～29(土)

○平成25年度全国高等学校総合体育大会

競技名	種目	競技会場	大会日程
レスリング	全種目	島原復興アリーナ	H25.8.5(月)～8(木)

○長崎がんばらんば国体

競技名	種別等	競技会場	大会日程
サッカー	成年男子・女子	島原市営陸上競技場 ほか	H26.10.17(金)～21(火)
バレーボール	少年男子	島原復興アリーナ	H26.10.18(土)～21(火)
レスリング	全種別	島原復興アリーナ	H26.10.13(月・祝)～16(木)
弓道	全種別	島原市壺丘公園体育館・弓道場	H26.10.13(月・祝)～16(木)

○長崎がんばらんば大会

競技名	障害区分	競技会場	大会日程
バレーボール	知的障害者	島原復興アリーナ	H26.11.1(土)～3(月・祝)
サッカー	知的障害者	島原市営平成町多目的広場	H26.11.1(土)～3(月・祝)

事業費	25年度予算額（うち、一般財源）		全体事業費
	140,737千円（109,306）		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	上記事業内容と同じ ※大会準備	上記事業内容と同じ ※全国高校総体実施 ※リハーサル大会実施	上記事業内容と同じ ※長崎がんばらんば国体・大会実施

国体推進グループ